

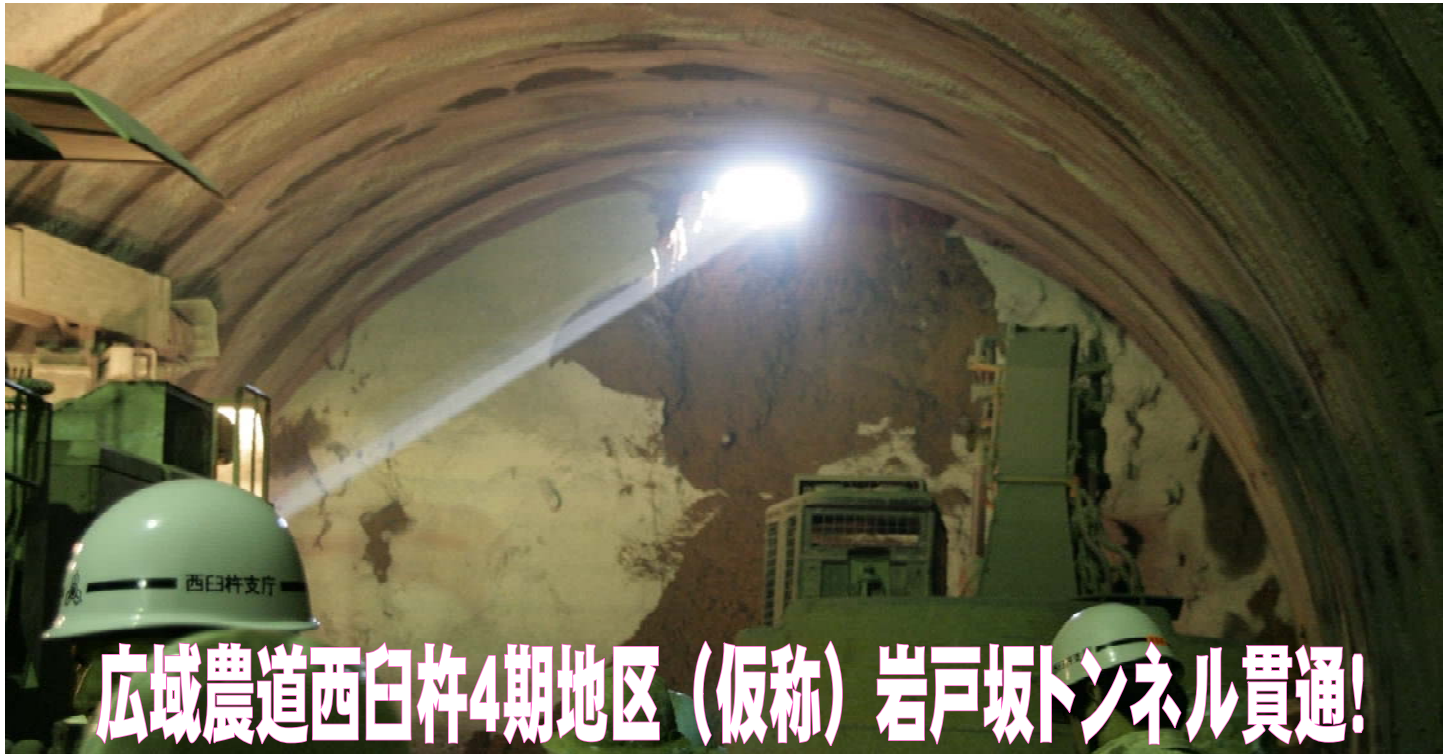
神話伝説の山里

「高千穂郷」通信

平成22年3月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.87



広域農道西臼杵4期地区(仮称)岩戸坂トンネル貫通!



トンネル貫通直後の状況
(平成22年2月23日
撮影)

貫通発破スイッチを押す
内栞保支庁長

参加者による通り初め

起点(岩戸)側坑口

終点(下野)側坑口

※工事は終点(下野)
側から実施していま
すので、終点側はコ
ンクリートの坑門が
完成しています。

西臼杵支庁が実施している広域営農団地農道整備事業(広域農道:神話アグリロード)のトンネル工事が無事貫通し、3月16日に貫通記念式典が行われました。

式典には、緒嶋県議会議員をはじめ管内3町の町長及び議長、関係地権者など約80名が参加し、内栞保西臼杵支庁長の貫通発破の後、参加者全員で通り初めを行い、トンネルの貫通を祝いました。

このトンネルが完成すると、山で隔てられていた高千穂町岩戸~下野間の利便性が大きく改善され、農畜産物輸送の効率化や集落間の交流はもとより、町内観光にも大きく寄与できるものと期待されているところです。

今後、コンクリート打設による巻立てや舗装工事などを行うため、残りの工事の安全祈願と、岩戸~下野間の早期開通祈念をして終了しました。

西臼杵型産直住宅交流ツアーの開催

2月21日、日之影町において『西臼杵型産直住宅伐採ツアー』（西臼杵林業振興協議会主催）が開催されました。今回は、福岡県でマイホームの建築を予定している21家族（65人）が参加され、高性能林業機械を使った間伐現場と製材工場（もくみ）の見学を行いました。

参加者は、住宅の材料となるスギが、素晴らしい環境で育ち、今後も山林を守っていくためには、間伐などの手入れが欠かせないと改めて実感したようです。



高性能林業機械を使った間伐作業に圧倒されていました。



乾燥工程には多くの質問があり、高品質の製材品に大満足！

西臼杵地区土地改良協議会役職員研修会

2月25日に土地改良協議会の役職員研修会が開催されました。

この研修では、2つのテーマについての説明を受け、引き続き現地研修としてパイプラインによる用水施設を視察しました。

〔テーマ1〕

「戸別所得補償制度に関するモデル対策について」

九州農政局宮崎農政事務所の比江島宏課長補佐を講師に招き、戸別所得補償制度の説明がありました。

本制度はこれまでの米の生産調整施策に変わる新たな対策として、平成23年度からの本格実施に向けたモデル対策が来年度から始まりますが、参加者の殆どが水稻を含めた複合経営であるため真剣な表情で説明を聴いておられました。

〔テーマ2〕

「県営事業におけるパイプラインの整備について」

支庁農政水産課井之上主査より、西臼杵管内の用水路の特徴や地形等を考慮し、管内の用水路に適したパイプラインの整備について、施工事例を用いて説明がなされました。

また、農地環境整備事業で五ヶ瀬町牧地区に建設されたパイプラインを視察し、五ヶ瀬町環境建設課甲斐技師や地元の方より説明を受けました。当管内の用水路の殆どが開水路で、参加者は維持管理に苦慮されており、パイプライン化にすることで労力軽減に繋がると実感されておられました。



九州農政局宮崎農政事務所 比江島課長補佐による説明



西臼杵支庁農政水産課 井之上主査による説明



現地視察の様子

中山間地域等直接支払制度協定代表者研修会

3月2日、高千穂町自然休養村管理センターで集落協定代表者などを対象とした研修会が行われました。この研修会は、農業の担い手不足や鳥獣被害の増加など、農業をとりまく環境が一段と厳しいものとなっている中、農業・農村の持続的な発展を支援し、集落による営農を推進することを目的として、西臼杵地域担い手育成総合支援協議会が主催したものです。

研修会では、独立行政法人近畿中国四国農業研究センターの江口祐輔主任研究員による「獣害に強い集落づくり」をテーマとした講演や西臼杵3町の代表者による県の事業を活用した事例発表及び新年度から始まる中山間地域等直接支払制度第3期対策の概要が説明されました。

約300人の参加者は、自分の集落に参考になることを持ち帰ろうと、講師等が話される内容を熱心に聞き入っていました。

(事例発表者)

- 高千穂町：秋元地区・持続可能な村づくりグループ
飯干淳志氏
- 五ヶ瀬町：(株)霧立山地 ごかせ農園
秋本良一氏
- 日之影町：日之影町役場 農林振興課
中村恭平課長補佐



江口祐輔主任研究員による講演の様子



飯干淳志氏



秋本良一氏

鳥獣害対策集落現地研修会

3月2日に高千穂町黒口集落において、西臼杵地域鳥獣害対策協議会主催による現地研修会を行いました(参加者42名)。独立行政法人近畿中国四国農業研究センターの江口祐輔主任研究員を講師としてお招きし、「鳥獣害に強い集落づくり」について講義を受けた後、集落内ほ場を回り獣のひそみ場所となる所を点検したり、サル被害が深刻となっている椎茸ほだ場での具体的な防御方法等について指導を受けました。

鳥獣害対策は、集落みんなで取り組むこと、捕獲だけでなく追い払いや防護柵など総合的に取り組むことが重要であることが理解でき、今後の集落ぐるみの取組に活かされることが期待されます。



江口祐輔主任研究員による講義の様子

平成21年度むらづくりコンクール 中川登集落(高千穂町)優秀賞受賞

県では、農林漁業を基盤とした豊かな地域社会づくりを促進するため、むらづくりコンクールを開催し、むらづくり活動の模範となる優良事例の表彰及び発表を行っています。

今年度、西臼杵からは高千穂町の中川登集落が推薦され、審査員による現地審査などの結果、子どもから高齢者まで参加した様々な取り組みが評価され、「むらづくり優秀賞」を受賞されました。

今後も、公民館組織と集落協定組織の連携によって、集落に住む人が明るく、楽しく、生きがいを感じる「いきいきとしたむらづくり」活動を推進される事が期待されます。



受賞者と審査員の記念撮影(3月16日、宮崎市)

高千穂町「鳥屋(とや)岳」ふもとで植樹祭

3月14日に高千穂町押方「鳥屋岳」のふもとで植樹祭が開催されました。

当日は、県内外から約50人のボランティアが集まり、コナラやモミジなどの植栽に汗を流しました。

このような森林ボランティア活動を通じて、豊かな水と緑に恵まれた県土の形成及び県民の安全で豊かな生活の確保が図られるとともに、「県民参加の森林づくり」の輪が広がっていくことが期待されます。



高千穂町「鳥屋岳」ふもとで行われた植樹祭（森林環境税活用）

『森林教室を開催しました』

3月10日、17日に八戸小学校と岩戸小学校で森林教室を開催しました。

授業では「森林のはたらき」、「木の年輪」、「森林の土の保水力」などについて説明し、種の模型を作って飛ばしたり、ヒノキの板に絵を描いたりしました。

児童達は大きくなすいたり、おどろいたりするなど真剣に話を聞き、森林について理解を深めたようです。



年輪についての説明の様子（八戸小学校）

西臼杵地区農村女性アドバイザー活動成果報告会

3月8日に西臼杵地区農村女性アドバイザーの活動成果報告会が西臼杵農業改良普及センターで開催されました。平成19年度に認定された第5期農村女性アドバイザー7名（高千穂町3名、日之影町2名、五ヶ瀬町2名。任期は3年。）が、今年度に取り組んだ地域振興活動や若手女性農業者支援、食育活動等について発表を行いました。第5期認定の7名は3月末までで任期を終えられます。来年度からは新しいメンバー7名と共に、女性農業者の経営参画に向けた各種取り組みを行う予定です。



活動成果報告会の様子



木工教室の様子（岩戸小学校）

編集後記

高千穂郷通信の担当となったのは平成19年4月でした。早いもので3年の月日が経ち、異動することになりました。いろいろありましたが、皆さんに助けられ何とか毎月発行し続けることができました。取材や情報提供に御協力いただきました皆さん、お世話になりました。今後は西臼杵の一ファンとして高千穂郷通信を楽しみたいと思います。これからも高千穂郷通信をよろしくお願いいたします。 (●)

*西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760
URL http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html